



みさと

美郷町議会だより

No.36

2013.10



P2 第3回 定例会報告

P3 議長・副議長 就任あいさつ

P4~5 平成24年度 決算報告

P6~11 一般質問 -6人登壇-

P12 どうなったの? あの質問...

P12 全国町村議会広報研修会に参加

P13 住民の声 真の価値観

P14 議会広報についての意見・応募をお願いします

P14 編集後記



防災公園で行われた総合防災訓練 (9月29日)

平成25年美郷町議会 第3回 定例会報告



平成25年第3回定例会が9月9日に招集され、会期を9月13日までの5日間と決め、条例案2件、予算案4件、一般事件案2件、報告事件案3件の計11件が提案され慎重審議しました。

また、9月12日には一般質問が行われ、6名の議員が質問に立ちました。

提案された議案については、13日の最終日に全議案とも原案どおり全会一致で可決、承認し閉会しました。

条例案

美郷町税条例

地方税法の一部を改正する法律等の施行に伴う、条例の一部を改正するもの。

美郷町国民健康保険条例

地方税法の一部を改正する法律等の施行に伴う、条例の一部を改正するもの。

予算案

平成25年度一般会計補正予算並びに特別会計補正予算

会計名	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	65億7,493万6千円	9億9,969万5千円	75億7,463万1千円
国民健康保険特別会計	6億9,086万1千円	1,030万1千円	7億116万2千円
国民健康保険診療特別会計	8,200万8千円	37万9千円	8,238万7千円
後期高齢者医療特別会計	1億8,849万5千円	267万3千円	1億9,116万8千円

一般事件案

町道谷川線道路改良工事請負契約の締結に関する議決
平成24年度歳入歳出決算の認定

報告事件案

平成24年度決算に基づく美郷町の健全化判断比率及び資金不足比率の報告

(単位：%)

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
- (15.00)	- (20.00)	13.9 (25.0)	95.3 (350.0)

※()内は早期健全化基準であり、美郷町は数値を下回っているため健全な決算です。

平成24年度株式会社グリンロードだいわ第21期決算、第22期事業計画の報告

議会改革特別委員会設置される(要旨)

議会改革に関する諸々の課題の調査・検討を行い、議会の活性化を図るため設置しました。主な調査・検討内容は次のとおり

- ①議会基本条例に関すること。
- ②議会のインターネット中継に関すること。
- ③議員定数に関すること。

【議会改革特別委員会】

委員長 西嶋 二郎
副委員長 山本 幹雄
委員 安田 勝司
委員 岩根 和博
委員 栗原 進
委員 原 克美

平成24年度財団法人美郷町開発公社事業実績及び決算、平成25年度事業計画及び予算の報告

請願及び陳情の要旨	審査結果	付託常任委員会
美議請第5号 粕淵地区に若者定住住宅団地建設のお願いについて（粕淵地域連合自治会）	一部採択	経済常任委員会
美議陳第5号 若者定住住宅建設に関する陳情書（別府地域連合自治会）	採択	経済常任委員会

【美議請第5号の審査結果についての意見】
野井地区は採択、寿地区及び稲荷町地区は不採択

【道州制導入に断固反対する意見書】

災害報告

8月1日と8月24日から25日の豪雨による被害状況

雨量は、最大時間雨量が71mm、24時間連続最大雨量は195mmを8月1日に記録した。170カ所、被害総額約9億4600万円

幸いにも人的被害なく、復旧に向けて全力を尽くす。

JR三江線

災害により運休している三江線は、応急措置として代行バス等を運行。三次・浜原間は、9月1日の始発より運行を再開、浜原・江津間の復旧は、未だ再開の見通しが立っていない状況だ。

三江線改良利用促進期成同盟会として9日、JR米子支社へ早期運行再開の要望をした。

県知事も9日、JR西日本本社へ三江線の早期運行再開について要望、川本町長、安芸高田市長、三次市長、同協議会事務局長が同行した。

多目的コミュニティセンター建設

第4回建設検討委員会で、基本的な設計の協議・検討を終了、開発センターの取り壊しは、10月初旬となる見込みである。

防災公園の完成に伴い、9月29日（日曜日）に防災公園を会場として、総合防災訓練をする。

総合防災訓練

このたび、町議会第5代議長に選出されました。その使命と責任の重さに身が引き締まる思いであります。



鹿賀駅～因原駅（井原川橋梁 災害後）



議長 佐竹 一夫

このたび、町議会第5代議長に選出されました。その使命と責任の重さに身が引き締まる思いであります。

議長は、常に諸問題に取り組み、当局の施策のチェック機能を果たすのが使命であります。議会改革をすすめ、常に町民の方々と対話をかさね、その結果に基づく政策提言の実現を目指す議会でありませう、議員一体となって取り組んでまいります。皆様方の絶大なるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



副議長 黒川 民次郎

さて、美郷町においても他の町村と同様、人口減に悩んでおり、その対策として、若者定住住宅の建設、保育料の減額・無料化等、様々な施策に取り組んでおりますが、なかなか効果が現れてこないのが現状であります。

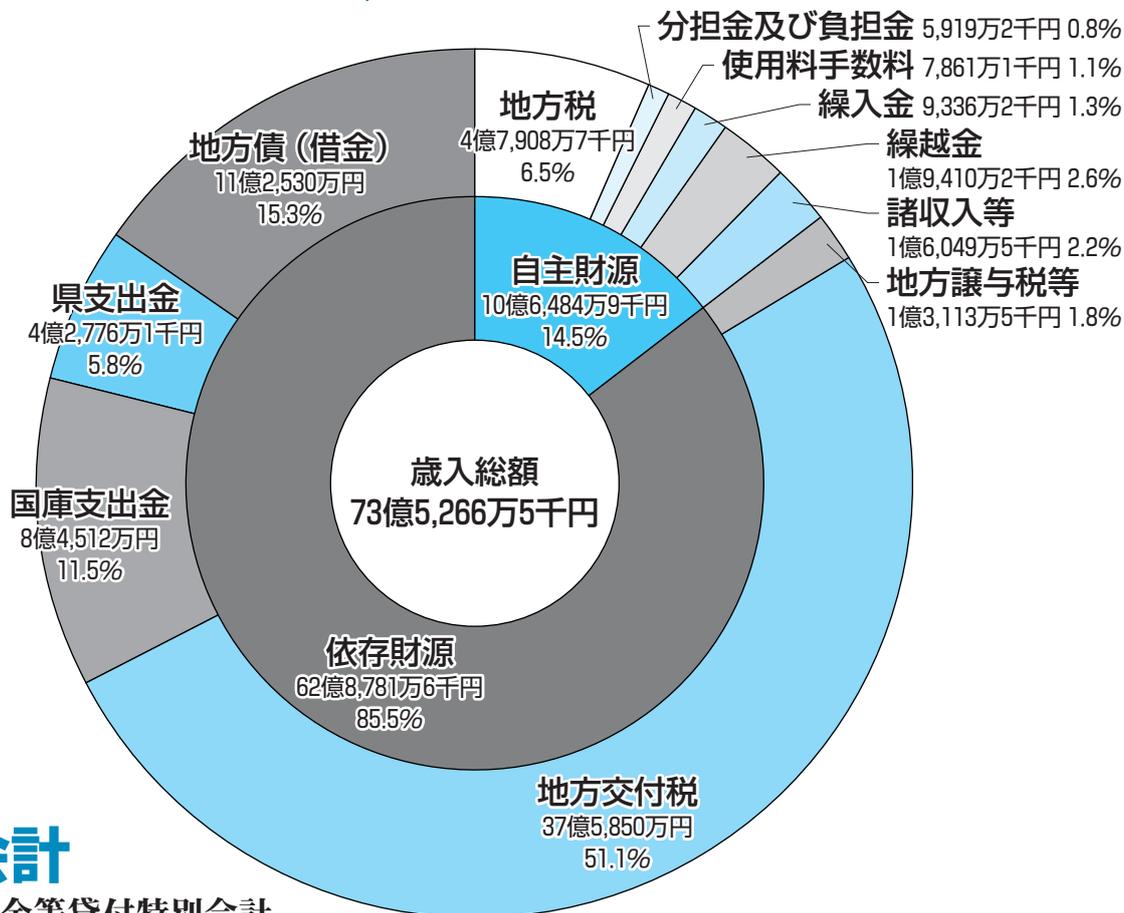
今後とも町民の皆様様の暖かいご支援ご指導をお願い申し上げます。副議長就任のご挨拶いたします。

このたび、町議会副議長に選出されました。微力ではありますが、町政発展のため議長を補助し、開かれた議会をめざし今後一層努力し全力で頑張ります。

美郷町の一般会計及び特別会計の決算は、単年度収支において黒字となり、堅実な財政運営が行われています。財政運営は改善されていますが、まだ厳しい状況にあり、町民皆様の協力で健全な運営を続けなければなりません。

一般会計
歳入総額

73億5,266万5千円 歳入



特別会計

住宅新築資金等貸付特別会計

歳入総額 617万2千円
歳出総額 617万2千円

簡易水道事業特別会計

歳入総額 2億7,744万8千円
歳出総額 2億7,725万5千円

下水道事業特別会計

歳入総額 2億9,320万7千円
歳出総額 2億9,233万2千円

君谷診療所特別会計

歳入総額 456万5千円
歳出総額 456万5千円

国民健康保険特別会計

歳入総額 7億1,215万円
歳出総額 7億1,210万6千円

国民健康保険診療所特別会計

歳入総額 7,745万4千円
歳出総額 7,745万4千円

後期高齢者医療特別会計

歳入総額 1億8,428万円
歳出総額 1億8,253万7千円

財政運営の状況

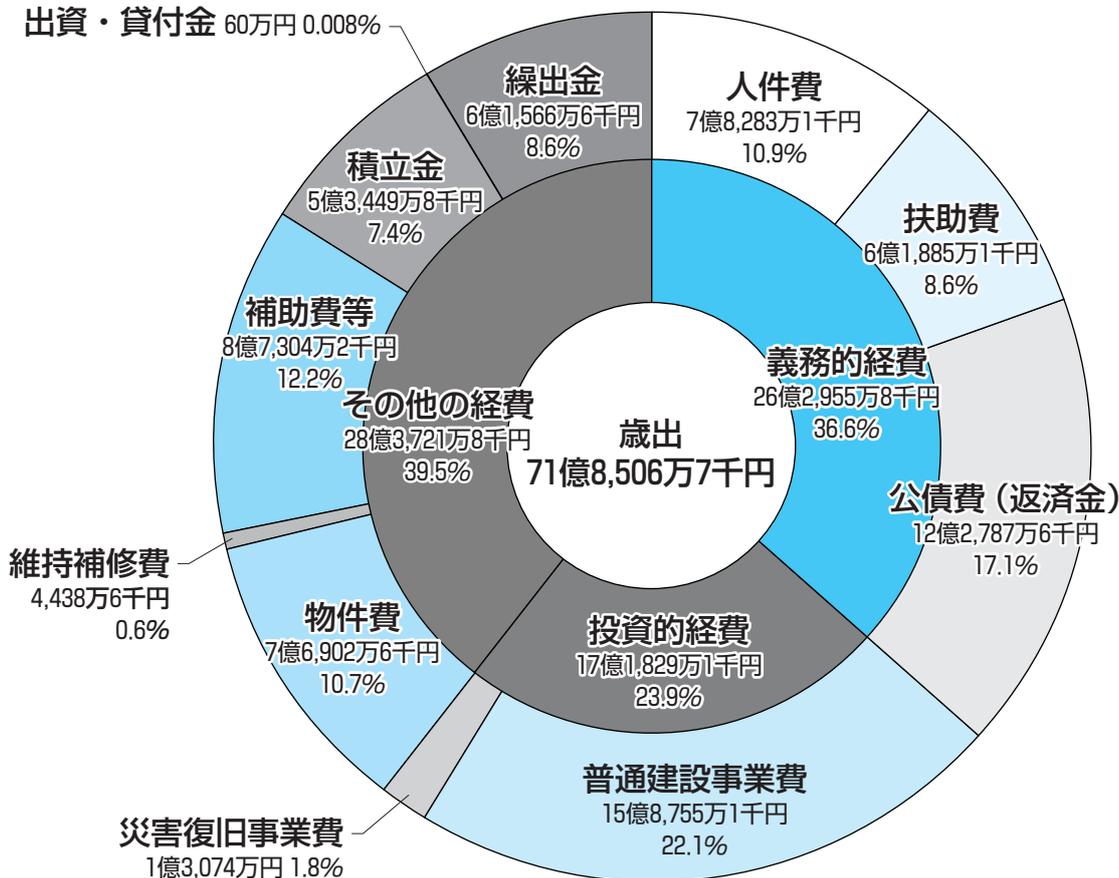
(単位：%)

	22年度	23年度	24年度
財政力指数 地方公共団体の財政力の強弱を示す指数。1に近い(あるいは1を超える)ほど財政に余裕があるとされる。	0.142	0.140	0.136
経常収支比率 経常的な一般財源がどの程度経常的な経費に充てられているかを示す指数。数値が高いほど財政が硬直化し、70%~80%の範囲が望ましいとされている。	84.0	85.2	84.3
実質公債費比率 一般財源の標準的な規模に占める公債費のほか、公営企業会計や一部事務組合が負担する公債費、債務負担行為などを加味した比率。	14.3	14.0	13.9

決算

平成24年度美郷町一般会計及び特別会計決算認定について審議を行い、歳入総額73億5,266万5千円、歳出総額71億8,506万7千円を認定しました。

歳出 一般会計 歳出総額 71億8,506万7千円



決算監査

7月30日から8月16日まで
決算審査を行いました

決算審査結果の意見

代表監査委員 矢渡 升
監査委員 藤原修治

【審査結果】

平成24年度美郷町一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算書、同事項別明細書、財産に関する調査及び各種基金の運用状況を示す書類等について、関係法令に基づき、決算計数と関係書類とを関係職員の説明を聞き調査照合し、決算書式の適正及び計数の正否を確かめるとともに、予算執行状況について審査を実施した。

その結果、審査に付された一般会計及び各特別会計歳入・歳出決算書並びに同事項別明細書等は、ともに関係法令に準拠し、計数も関係書類と符号し、正確であると認めた。また、予算執行状況についてはいずれも相違なく適正であると認めた。

【決算全般意見】

負担金・使用料等の未収金も増加傾向にあり、公平な納税義務の観点から、担当課への徴収意識の高揚、また町民に対しての納税義務の高揚を図っていただきたい。



決算審査状況



旗根 正一 議員

豪雨災害における流末処理は

状況に応じ改修する

問

砂防、治山など各所にある排水施設の流末排水処理の基準を時間雨量50ミリに想定し、計画的な改良が必要では。

答

町長 指摘のとおり時間雨量50ミリを想定し施工されたものではなく、災害対応が基準が30ミリとなっている中で、50ミリを想定した改修は現実的に難しい。しかし、上流より下流が小さい施設など中心に検討し、恒常的に起こる箇所を優先して改修すべきと考えている。

問

個人の家、周りの側溝・排水溝などについても公費による対策を考えなければならぬと考えるがどうか。

答

建設課長 民地、民間施設については公的費用の投資は難しいが、民地等であっても緊急車両等の交通に支障のある生活路線であったり、崩土が住宅にかかり危険な状況にある場合には個人の生命、財産を守るといふ観点から総務課と協議し対応している。

問

トボトルを製造するかまだ見えていない。

問

現在の支援制度に疑問、町の損失が心配。

答

町長 指摘のように町としても今のような状況に懸念をもっている。今後も注視していく。

答

産業振興課長 町の支援中に事業が立ち行かなくなるということ、本当に大変なこと。全然収益がない段階で、町の補助により正規職員5



株式会社 優農ファーム

株式会社優農ファームの経営状況は 本格稼働まで注視し雇用継続を働きかける

問

ミネラルウォーターを製造販売する目的で会社を設立された、「株式会社優農ファーム」の現在の状況は。

答

町長 昨年5月から準備し、本年の3月末に充填機稼動にこぎつけてきたところである。この時点において、2リットルのペットボトルから500ミリリットルの製造へ変更し2社と契約した。しかし、いずれの商社も販売が不振で40万

本ほどの出荷にとどまり、売り上げはほとんど発生していない状況にある。経費については、

自社売上が確保されるまで関連会社からの支援を受け、雇用維持と本格稼働に向けて努力している。

答

産業振興課長 ペットボトルは、ミネラルウォーター購入会社から購入し充填している。今後は、ペットボトルを購入するのか、自社でペッ

株式会社ペンタグラムジャパンの状況は 一時加工後、外部委託により商品を製造し販売

問

「株式会社ペンタグラムジャパン」の運営状況を把握しているか伺う。

答

町長 現在は、未利用部位を随時保管し一定量になった時点で、外部委託により粉末を製造し料理の材料として活用している。また、生薬の地黄栽培やノブドウは、お茶へ加工するためそれぞれの葉を一時処理である洗浄・乾燥を行い、加工事業者へ外部委託による商品製造を行い、自社販売に

問

加えネット販売により、2社で5種類の商品を販売している。

答

産業振興課長 聞き取り調査ではあるが、畑では地黄を作付けし、工場で1人を雇用し北海道からエゾウコギ・地黄の根を取り寄せ、選別・洗浄作業を行っている。イノシシの部位については、完全にその機能性を活かした健康食品というものの製造には至っていない。



岩根 和博 議員

豪雨災害状況と復旧は

年内の復旧は難しい

問 このたびの水害で短時間に見舞われ国道375号線の崩壊など大きな被害に遭った。この災害状況と復旧方針を問う。

答 町長 被害状況は合計179カ所・状況把握は、災害対策本部を設置後、防災行政無線で、各連合自治会単位で状況報告をうけ、現地調査を行った。復旧方針は、応急的な措置が必要かを判断し、国費による復旧が可能かを検討。県事

業の関連がある事象が多かったため、県・町と一体となった調査を行った。

答 建設課長 湯谷上山線は、普通の単独災害と、地すべり関連災害という形で今、国の方で調整中である。年内はどうも無理で、来年1年をかけてやるような仕事になる可能性も出てきている。小林分附線の関係は、迂回路が遠くなるが、できれば災害で直したい、しばらくの間我慢をしていただきたい。

災害で孤立する集落の対応は

順次衛星携帯電話等を配備

問 災害等により集落の孤立が想定されている地域や高齢者の安否確認等の対策はなされているか。

答 町長 デジタル化した防災行政無線を、災害時の情報伝達が可能となるよう、全戸を対象に更新している。更新する防災行政無線は、停電時には電池により情報の受信ができる。次に、地震土砂崩れ等の災害により通信手段の途絶が想定される孤立集落は、現時点で8集落を想定しこれらの孤立予想集落での停電時の対策として、

衛星携帯電話と発動発電機の配備計画をしている。本年度は国の補助制度を活用し4集落に配備をした。残りの4集落も来年度以降同様の事業導入をもって対応する計画である。

答 住民福祉課長 高齢者向けの緊急通報装置は、名前を「サスケ」というものを導入し現在74台が設置され月1回安否確認をしている。災害時には、町が安否確認の指示を会社に出し会社が安否確認をとることは可能である。

要援護者避難支援は万全か

今回の災害時には対応できず

問 弱者の「要援護者避難支援プラン」はプランどおり出来たのか。

答 町長 要援護者避難支援プラン全体計画の75歳以上のみの世帯の方で、援護者の世帯数と人数は、施設入所者を除いて約950世帯、1330人くらいである。対象者のうち、援護を希望される方、また災害が発生した際に避難を支援していただく自治会員、民生委

員等の避難支援者にご自分の個人情報を提供することに同意をされる方が何名になるかは、現時点では不明である。この計画による要援護者の各種情報を一元化できるシステムの稼動が9月からで、このたびの豪雨災害には間に合っていない。災害発生時に自ら身を守る行動をすることは最も重要なことで、着実に進めていく。



豪雨により裏山が崩れた民家



福島 教次郎 議員

災害に強い町づくりを目指すには 改良型の防災事業が有効と考える

問

土砂災害から生命財産を守り安心して生活できる砂防ダムや急傾斜地危険箇所、治山ダムそして地滑り防止区域などの多くの制度がある。「災害に強い町づくり」を目指すには、単年度で施工するものと、複数年要しても住民の生命と財産を守るという2種類の方策が必要だと思う。例えば河木谷の放水路は非常に感心させられる防災対策のひとつであるが今後の防災対策はどのようなすめなのか、また防災分野に対する諸対策はできるものからどんどん積極的に進めていって欲しいがその推進体制がとれるか問う。また、砂防ダムの堆積土はリフレッシュ事業により取り除かれている。一方治山ダムは目的が砂防ダムとは異なり、最初から堆積のままとか立木が流れても堆積のままであるが取り除くことはできないのか。年に何基くらい建設されているのか、もつと設置数を増やす考えはないのか今後はどういうような流れになっていくのか問う。

答

町長 単年度施工による災害復旧事業と、防災減



堆積物でいっぱいになった砂防ダム

災を主眼に入れ、災害関連事業や一般事業等による改良型の防災事業が有効と考えている。事例としては、急傾斜、砂防、治山等の事業が、防災事業の先導事業と認識、一般事業において減災につながる構造等を備えることが災害に強い町づくりにつながると考えている。

答

建設課長 県は防災計画に基づき避難路及び避難場所を特に重要視をし、安全対策を徹底、危険地域を把握しながら場所の設定をしている。砂防、地すべり、治山は、すべて県事業であるが県と一緒に行動して、また地元と調整をしながら、必要性の高いところから順次進めていく計画だ。治山ダムの建設はおおむね毎年3カ所である。目的は山を守るということではあるが、最終的に下流の

受益地を守るのも治山のもう1つの目的だろうと思う。堆積土のひどい箇所は除去したいと考
起したい。
えている。県の方に話をしながら治山の維持管理方法を問題提起したい。

ワクチン助成の継続を望む 今後も継続してほしい

問

風しん等接種費用の助成についてのお知らせが広報みさと・新聞に掲載されていたが安心して子どもを産み育てる環境づくりのすばらしい保健衛生事業である。助成額は必要額に対しどのぐらいの割合か、助成は今後何年くらいを想定しているのか。母子手帳を配布する時では既に遅いと思うが、住民・Uターンの方への周知徹底の方法を問う。

答

町長 風しんワクチンのおむね半額を助成額としておむね半額を助成額としている。助成事業の継続期間は、当分の間継続していく必要がある。

答

保健衛生課長 大至急ホームページのほうにアップする。転入者に対しては妊娠可能、あるいは妊娠希望されている女性を対象にPRのチラシを配布し、いろんな相談事業で啓発をしていきたい。

水稲共済損害補償金の支払いを迅速に 12月下旬に支払い予定

問

今夏の災害により甚大な被害を受けた水田が多くあるが、調査はもろんであるが支払いも迅速に関係機関にお願いしたい。

答

町長 組合では邑智地域域3班11人で評価作業に従事。諸手続きを経て農林水産省へ報告。共済金の支払いは12月下旬農家の皆さんに支払われる見込みである。



栗原 進 議員

農業の新ビジネスモデル事業 六次産業化は

地域農業の生き残りを左右する取り組み

問

農産業者が、農産物の生産だけにとどまらず、それを原材料とした加工食品の製造販売を行う、産業者に回っていた加工賃や流通マージンなどを農業者自身が獲得し付加価値を向上させ、農業者の所得を上げる、これが六次産業化と思う。促進のため、さまざまな取り組みがされているが、ソフト、ハード両面での支援も受けられると聞いている。取り組み上で課題もあると思うが周知など、どのように進めていけるか。

答

町長 六次産業化については、事業内容の周知を今後行わなければならないと考えている。説明会は、一般的な開催案内の呼びかけに併せ、農林水産物の加工事業者、また集落営農組織、商工事業者の方々へも関係機関の協力を得ながら周知をしたい。六次産業化は農業所得向上を目指し、農産物価格が下落することが予測される今日、地域農業の生き残りを左右する取り組みと考えている。課題も多く補助金の活用は自己資金の投入が必要で事業計画を実施していくことは、大き

な決断を要する。商品開発からマーケティングまでが支援され、商品企画から販売確保までが六次産業化を成功させるためのカギになると考えている。支援に

道の駅の活性化は

地域自立促進特別事業で対応

問

道の駅グリーンロード375は、町内に1つしかない地域住民の宝である。しかし設立以来、改善が見られず、経営も厳しい状況にあるのは周知の事実である。道の駅は、その地域の文化・名勝・特産物を活用したサービスを提供する場であり営業収支を考えるばかりの施設ではないと思う。地域の声を受け、道の駅グリーンロード活性化検討委員会をもつて、検討された経緯もある。道の駅を使って地域を活性化したいとの声は大である。道の駅の活性化についてどのように考えているか。

答

町長 道の駅グリーンロード大和は、平成5年に道の駅に登録され、今日まで道路利用者や住民の方々にさま

については産業振興課を中心に進め、少しでも取り組みを考えていく事業者が現れることを願っている。

さまざまなサービスを提供し、地域の活性化に大きく貢献している。近年は松江三次間の高速道路の開通により、道の駅にも影響を及ぼしている。平成23年に道の駅グリーンロードに関する活性化方策検討委員会を設置し、7回の委員会を開催、検討委員会としての報告書の取りまとめをした。活性化の目的、事業、機能施設計画、運営計画、交流観光による経済効果、地域の将来等について、意見集約をいたしたものである。又、昨年から始まった美郷町地域自立促進特別事業について、都賀・長藤地域協議会より申請があり、

本年の5月決定通知をした。その計画の中に、3年を目標に法人化の計画もある。地域と意見交換をする中で、今後の道の駅

グリーンロード大和構想について、検討したい。

答

企画課長 道の駅は、地域にとって拠点であることは承知している。現状については、第三セクターで経営をしているところが、少し課題になっている。今後については、第三セクターとの協議が必要と考えるが、地域協議会が過疎促進事業で法人化の計画があり、その中で、地域の課題を持ちながら地域おこし協力隊も取り組んでいる。意見交換をしながら、見えてくるのではないかと考える。



グリーンロード375



山本 幹雄 議員

自己判断でも避難できる 雨量の情報を

スマートフォンなどの情報も 有効な手段



雨量計

問

豪雨などで重大な災害が起こるおそれがある場合に、気象庁が発表する特別警報の運用が開始された。数十年に1度の現象を基準に、市町村単位で発表するとしているが、280平方キロメートルの面積を持つ美郷町で、局地的な豪雨

の場合、避難できるのか不安である。局地的な雨量の情報を確認し、自己判断で避難できるような対策も必要と思う。町内の雨量計は公式、非公式を含めて、何箇所設置をされているか伺う。

答

町長 町内の雨量計設置数は、島根県が設置した5カ所と、江津邑智消防組合が設置した2カ所、中国電力が設置した1カ所である。雨量計を増し、その情報を得て自己判断で避難できるような対策は非常に有効な手段と思うが、気象庁ではレーダーや雨量計を用いた解析雨量によって、島根県全体をカバーし、雨量実況を監視しているもので、これにより防災上は十分と考えている。気象庁から、解析雨量・降水短時間予報やレーダー、降水ナウキャスト等防災気象情報が発信され、テレビ、インターネット等を通じ



スマートフォンによる情報

問

気象庁による大雨の特別警報は、3時間と48時間の雨量などを目安に判断するため、実際に降る大雨とタイムラグが生じる。8カ所の雨量計では十分とは言えない。防災計画で検討してはどうか。

答

総務課長 有効なシステムがあれば検討する。



安田 勝司 議員

災害時の危機管理体制は

マニュアルどおりに実施

問

この度の災害時に小・中学校の対応について、どの様に対応されたか危機管理体制の实体を問う。

答

町長 9月4日の大雨に際しては、小・中学校及び教育委員は危機管理マニュアル及び美郷町地域防災計画に基づいて、児童生徒の安全確保を最優先課題として対策を講じた。

答

教育長 9月4日については、苦情は学校、教育委員会の方には1件も無かった。災害対策本部はライブカメラや、江の川の増水、流量すべて監視している。邑智小・中も統一した行動をお願いしており、今回の災害はそういう対応をした。

みさとカレッジの状況と今後のフォローは

フォローアップを図る

問

専科の当初3事業の採択が、現在は2事業体に縮小したと聞かすが、8月末までのこれら3科の取り組み状況と、事業終了後のフォローと出口について問う。

答

町長 専科「株式会社ヘルシーぶらす」の本年3月までの実績は2198食。今年度8月までは1510食である。「農事組合法人小松地営農倶楽部」は、夏にシンテッポウユリ3千本を集荷済。10月出荷予定のトルコギキョウ1万9千本と冬の出荷予定のスプレーストック1万2千本の栽培中で



トルコギキョウの植え付け

ある。研修科のミツバチによる企業プランの研修生は、東京の「農業生産法人銀座ミツバチ」で研修中である。普及科は昨年の11月より5つのコースで、町内外から200人の方が講座に参加。

今後は、これまでの講義中心の講座から実践を交えた講座を組み合わせ、起業へのステップ

アップを図り、状況を把握しながら出口等のフォローアップを図っていききたい。

補助事業により起業した事業の現状は

再開に向けての検討

問

「Vジャパンウッド」及び「グリーンバイオテック美郷」について、多額の投資等を要したこれら事業体のその後の経過がどうなっているかを問う。

答

町長 Vジャパンウッドは破産し、その製造機械等を引き継いだ石見ペレタに対しては、ペレット製造機械等の保管状況を確認し、機械等の適

切な管理をお願いしている。今後は美郷町地域新エネルギービジョンに則し、製造再開に向けての検討を図っていく。

グリーンバイオテック美郷については、昨年10月に原木椎茸の事業を撤退。現在は社員2人により、自社の200ヘクタールの山林用材の切り出しとチップ材の搬出手がけている。

多機能コミュニティセンターの建設経過は

検討委員会で検討

問

多額の予算で建設され、図書館も併設となるこの建物が、町民の方々が利用しやすい施設となることを望むが、これまでの建設検討委員会での経過等を問う。

答

町長 この建設の検討委員会では、町内の各機関・

団体より7人の方々にお願いし、町の拠点施設としてふさわしい建物になるべく協議検討している。第1回目を4月22日に開催し、これまで4回の検討委員会を重ねた。10月上旬には完成図面を確認いただく。

シリーズ
追跡

どうなったの？ あの質問…



本会議で行った一般質問で改善や検討を求めています。
指摘した事項に、町当局がどう取り組んでいるかを追跡調査しました。

問 「浜原隣保館」での冠婚葬祭利用は？

答 平成25年4月開館。 利用開始からこれまでに2件の利用があった。



浜原隣保館（浜原ふれあい会館）
〒699-4701 島根県邑智郡美郷町浜原122番地
TEL 0855-75-0340

これらの不安を解
決し、町民の皆さん
に読んでもらえるた
めにはどうしたらいい
か。また、表現の
基本は文字組みにあ

います。
これら
の不安を
決し、町
民の皆
さんに
読んでも
らえる
ために
はどう
したら
いいか
。また
、表現
の基本
は文字
組みに

広報誌の編集に当
たっては、町民の
方々へ議会の情報を
的確に届けることが
出来るのだろうか
と思いつつ編集を
しています。

今回は、新人議員
3人も参加し緊張
の中、有意義な研
修となりました。

全国町村議会 広報研修会に参加

議会広報編集特別委員会報告



9月30日から10月2日まで、東京都千代田区平河町砂防会館別館で行われた全国町村議会広報研修会に参加しました。
今回は、新人議員3人も参加し緊張の中、有意義な研修となりました。



真の価値観

都賀・長藤 地域おこし協力隊

森川 亮



都賀・長藤の地域おこし協力隊の森川です。私は今年の4月に美郷町に来ました。

美郷町に来る前は都会で暮らしていたので、生活のサイクルも様式も美郷町での暮らしとは明らかに違うものでした。確かに都会には都会の良さがありますし、都会ではある物事を進めていく上での土台や仕組みが街全体である程度出来上がっていますので、何をすることも非常に効率も良くスピードも早いです。私は文明の発展を否定はしませんし、それはむしろ歓迎するべきことだと考えています。ただし、それは発展の仕方が自然の法則に則っていればの話です。戦後日本は急速な変化を遂げました。高度経済成長を経て、

一家に一台のテレビの時代から、冷蔵庫、洗濯機、電子レンジが急速に普及し、今や携帯電話やパソコンを用いてのネット社会となりました。昔はテレビのある家庭には常に誰かが訪れ、みんなでテレビを観ていたものだと言います。まだ情報があまり得られない時代でした。でも、今の時代

見知らぬ人とも文章のやりとりが出来ます。でも、果たしてそれは本当の交流でしょうか？

時代と共に、「交流」という言葉が持つ内容も変化しているように感じます。

先人達が築き上げたいくつもの気付きや発明を、私たちは自然を守りながら、そして自然との調和を軸に歩んでいくことに本当の価値があるように思います。



にはない交流がそこには存在しています。今は多くの人が携帯電話やパソコンを使っていろいろな情報を瞬時に得ることが出来ます。情報があふれている時代です。今やネットを使って本も読めるし新聞も読める。そして音楽も聴けるしチャットなどを利用して

での暮らしも田舎での暮らしもそのライフスタイルや様式は全く異なりますが、本当に大切なことはやはり同じです。いつの時代にも大切なこと、それは「自然と調和して生きること」だと私は感じます。

皆さん、意見交換会に参加して下さい!

議会広報についての意見を下さい!

私たち議会広報委員は、「手に取り・見て・読んでもらえる議会広報」「住民から必要とされる議会広報」になるよう編集委員会で常に話し合っています。そこで、今回多くの住民から意見を聞かせていただくと言う事で、私たちが出張し意見交換会を開催したいと思いますのでよろしくお願いします。

- ① 各種団体で8名以上。住民グループで8名以上。
- ② 日時・開催場所については相談して決定します。

住民の皆さんの応募をお願いします!

- ① 掲載写真(表紙等の写真)・撮影場所
- ② 「議会への一言」・「傍聴者の声」等を400字以内。
- ③ 住所・氏名は掲載します。※掲載についての判断は、議会広報特別委員会で行います。

お問い合わせ・投稿される方は、
美郷町議会事務局 TEL.0855-75-1937
E-mail: gikai_sec@town.shimane-misato.lg.jp
までご連絡下さい。



議会広報編集特別委員会

委員長	山本 幹雄
副委員長	岩根 和博
委員	藤原 修治
委員	栗原 進
委員	福島 教次郎
委員	原 克美

この夏の集中豪雨により、町内各所にも被害が発生しました。幸いにも人的被害が無かった事が不幸中の幸いでしたが、被害が甚大な地区もあり、被災された皆様方には心よりお見舞いを申し上げます。

7月の議会議員の一般選挙も終わり、フレッシュな新人議員も加わった各委員会の構成も決まり、8月から新たな美郷町議

会がスタートしました。我々の広報部は、山本委員長以外は初めての委員ばかりで不安一杯でしたが、先日全員で研修会に参加し勉強して帰りました。

不慣れな者ばかりですが、住民目線に立ったわかりやすい紙面づくりに努めますので、ご意見や要望をお寄せ下さい。

藤原 記

編集後記

